

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区

大東ロータリークラブ

■ 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL: 072-875-1200
FAX: 072-875-0590
E-mail: office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/

■ 例会
毎週火曜日 12時30分~1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL: 072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

- Reach Within to Embrace Humanity -

創立 1967年12月26日

■ 会長 大西 寛治
■ 幹事 上田 正義
■ 会報委員長 北本 良弘

2011年~2012年度
国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

平成23年11月8日

No. 2136

H23. 11. 1 (No. 2135の例会記録)

今週の卓話 (11月8日)

「夜間例会」

橋本 正幸 社会奉仕委員長

次週の予定 (11月15日)

「床の間の話」

高田 眞吾 会員

先週の例会報告

◆ 出席報告 (11月1日分)

会員数 46名 出席数 34名 欠席者 5名
特定免除 7名 その他免除 0名
出席率 87.18%

前々回10月18日分

ホームクラブの出席者 39名 95.12%
メイクアップの結果 40名
特定免除 5名 その他免除 0名
欠席者 1名 修正出席率 **97.56%**

ロータリーソング

「君が代」 「奉仕の理想」 「四つのテスト体操」

ニコニコ箱

- ・誕生日自祝 (10月) 清水 修 君
- ・誕生日自祝 木田 眞敏 君
- ・誕生日自祝 上田 正義 君
- ・誕生日自祝 空門 満也 君
- ・大台ヶ原登山参加
北本さんお世話になりました 感謝 樋口 秀和 君
- ・楽しい例会、仲間に会える楽しみ
奉仕の出来る喜びに感謝
北本君 感謝 大西 寛治 君
- ・大阪マラソン完走しました
5時間58分04秒 高島 登 君
- ・熊本西南RCビジター訪問しました
歓迎していただきました 感謝 福富 経昌 君
- ・ゴルフベストスコアが出ました93 木村 克己 君
- ・空門さんに車のホイール修理 感謝 中野 秀一 君
- ・秋の家族会欠席お詫び 清水 修 君
- ・メイクアップ無しお詫び 松原 清一 君



今年も早いものでもう11月です。日曜日には、大阪マラソンが有りました。高島会員が5時間台のタイムで完走されました。抽選に当たってから完走目指し努力されました。このコースを発表後すぐに樋口、中野会員、杉原会員の奥様はじめ10人ほどでこの42.195キロを歩いてきました。行ったり来たりの曲がり角が多くゴール付近は倉庫やトラックターミナルばかりで一番疲れるところで民家がなく応援の人が少ないコースであると思いました。その難コースを完走した高島君に拍手を送ります。

先週は2660地区岡部泰鑑ガバナーを、お迎えしての大東、四條畷、大東中央の3クラブ合同公式訪問と合同例会を開催しました。11時30分から開かれた懇談会で、2660地区からの正式報告として、前年度、加藤会長時の3月11日に発生した東日本大震災に対し早急に義援金を地区に渡しました。それは、会員皆様の義援金、職業奉仕委員会の春の家族会を中止してまで130万円もの義援金と又、姉妹クラブの台湾雙溪ロータリークラブより600万円を超える義援金を大東クラブに送って頂きました。その二つを合わせ地区の方に渡しました。

ところが公式訪問でガバナーから言われた通りに650万の義援金が大東に返金されました。確認しましたが、すでに振り込まれています。

経緯はガバナーから報告があった通りです。クラブとして東日本大震災の義援金として社会、国際奉仕委員長、会員の皆様方と相談し東日本大震災で被害を受けられた方のために、加藤前会長と中原前幹事と共に考えていきたいと思えます。これからが大東として大変だと思えますが、逐一報告いたします。

22日にはロータリー財団の新しい地区補助金制度FVPについてのレクチャーに私と藤本会長エレクト、田中財団副委員長とで出席してまいりました。又、1月にレクチャーが有ります。申請の仕方等を聞きました。大きく違うことは2013年度から始まりますが、来年の藤本年度は従来のやり方の申請と実行をし尚且つ来年度の為の計画と申請をする。そして補助金が下りてくるのが中原年度となり実行する、中原年度には来年度の為に計画と申請する。そして次の年度に補助金が下りてくる。

ロータリーは単年度制度ですが2年制度になります。クラブの委員会も委員、副委員長、委員長、又委員に戻るのが好ましいとRIロータリー財団が報告しています。

RIの事務は簡素化されたいと思いますが、クラブとしては難しくなりました。

今年度はCLPも何処かに行った気がします。ガバナーとの懇親会で地区大会の在





り方とクラブからの空登録を当てにしなければ開催できないニコニコキャンプ、ライラについて質問しました。現在、年2回の開催を年1回の開催とし空登録を当てにしない開催を約束していただきました。地区大会もガバナーなりに改革すると言われました。

11月は小・中学校弁論大会。ロータリー財団のGSE奈良ディの受け入れ、11日、12日には地区大会等事業が在ります。参加の程よろしくお願ひします。

委員会報告

◎親睦活動委員会

木村 克己 委員長

第44回クリスマス家族会のご案内

日時：12月13日（火） 午後6時～（例会開始）

場所：太閤園 1階 リュクセレ

多数のご参加を宜しくお願ひいたします。



11月のお花

- 11月の誕生日花は、「紅葉・実りの秋」をイメージしてアレンジいたしました。
- きれいな紅葉した葉は、「ファーガス」落葉することなく長く楽しむことができ、秋風の生け込みなどには大変重宝します。
- 紫のアザミに似た花は、「エレンジューム」花言葉は、「秘密の愛情」。キツネの顔に似た実を「フォクスフエイス」、花言葉は「真実・誠」。
- ピンポン玉の様な黄色い花は、「ピンポン菊」といい、菊は色目により花言葉が違ってきます。
- 一般的には、「逆境の中で元気」です。





《決議事項》

議 題

(1)クリスマス家族会について・・・別紙参照 承認

米山奨学生ピューピュートウェさん 招待

インターアクター招待については、インターアクト委員会と打合せ

(2)義援金について

支援金箱 (10/25 現在)

返金額より、塩釜東ロータリークラブへ 支援金・・・承認

残金については、次回理事会で再検討

(3)WC S 予算の件

11月4日～6日台湾雙溪ロータリークラブへ訪台

(田川国際奉仕委員長・橋本社会奉仕委員長・佐藤国際交流平和委員長)

WC Sの打合せ

(4)その他

・事務局休暇 (11月22日例会休会のため)

11月21日(月)22日(火)24日(木)25日(金)・・・承認

先週の卓話

「ロータリー財団月間に因んで」

松原 清一 ロータリー財団委員長

ポリオ撲滅への闘い

ポリオ、ご年配の方には「小児まひ」といった方がわかりやすいかもしれませんが。かつて、日本でも大流行をしたことがあります。ポリオウィルスは手や足などにまひを起こさせることがあります。肺の筋肉がまひすると、呼吸ができなくなって死に至ることもありますし、足がまひして歩けなくなることもある恐ろしい病気です。





フィリピンで最初のポリオワクチン接種活動

国際ロータリー（R I）の1978年4～5月の理事会は、「保健、飢餓追放および人間尊重補助金プログラム（Health, Hunger and Humanity Program）」、いわゆる3-Hプログラムを設立し、これは1979-80年度にロータリー財団に引き継がれました。このプログラムの目的は、国際間の理解、親善および平和を推進するための方法として、人々の健康状態を改善し、飢餓を救済し、人間的社会的向上発展をはかることにあります。

1979年の初め、フィリピンのザビノ・サントスパストガバナー（1970-71年度）が、R Iにポリオ免疫接種事業を行ってくれるように、という手紙を出したのです。ポリオ予防ワクチンの必要性、国内外の諸機関の協力、ロータリアンおよびロータリークラブの協力などが考慮された結果、フィリピンは、3-Hプログラムによる、最初の大規模免疫接種活動をするのに適切であると、認められました。

その結果、1979年9月、生後3か月から36か月の子ども約600万人に対して、5年計画のポリオ免疫接種活動が始まりました。そして、この活動が、R Iが取り組んだ最初のポリオ撲滅活動となったのです。

R Iの本格的取り組みに先駆けた日本の活動

1981年、第258地区（現、第2580地区）の東京麹町ロータリークラブ（R C）は、「3-Hプログラム」の「インドはしか免疫プロジェクト」に参加した経験がありました。同クラブでは、クラブ設立15周年事業として1982-83年度、南インドにポリオワクチンを送り、地元のロータリアンと協力して、子どもたちをポリオから救うことを計画したのです。

この計画は、第258地区と第275地区（現、第2750地区）の賛同を得て、2つの地区の世界社会奉仕（W C S）プロジェクトへと発展しました。ロータリー財団からは「すばらしい計画であり、感謝する」と評価されています。

ポリオ撲滅に向けて始動

1979年9月、国際ロータリーは、フィリピンで、生後3か月から36か月の子ども約600万人に対して、5か年計画のポリオ免疫活動を始めました。これが、ロータリーがポリオ撲滅に取り組んだ第一歩です。

1985年、国際ロータリーでは、ロータリー創始80周年に当たって、「ポリオ・プラス計画」を発表。日本国内では、募金総額40億円を最終目標として、1986年7月から、5年計画のポリオ・プラスの募金キャンペーンが始まりました。日本中のロータリアンの積極的に取り組み、このキャンペーンが展開されていた1986年7月から1991年6月までの5年間で、目標額をはるかに超える約49億円の寄付金を集めることができました。

国際ロータリーでは、1989年6月までの3年間でキャンペーン期間としていましたが、この間で米貨2億4,700万ドル（約270億円）を集めました。これは目標額の2倍に相当します。





ロータリー100周年に向けて新たな展開

ロータリーが創立100周年を迎える2005年2月にまでにポリオの撲滅を実現しようと、国際ロータリーでは、2002年に、新たな「ポリオ撲滅キャンペーン」を展開しました。この時点で、ポリオは99%撲滅したといわれていましたが、残りの1%は、紛争地帯やへき地など、ワクチンを投与するのに困難な地域が多く、それまで以上に多くの資金とを必要としていました。目標額は8,000万ドル（約90億円）です。この結果、2003年6月末の時点で、誓約も含めて1億1,150万ドル（約126億円）以上が集まりました。

ポリオとの闘いを終わらせるために

2007年11月26日、国際ロータリーは、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団と協同して、世界ポリオ撲滅に必要とされる2億米ドルを投入することを発表しました。ゲイツ財団から1億ドルの補助金を受領したロータリー財団は、この時点から3年間にこれと同額の資金を調達するための募金活動を行っていくことになっています。

2009年1月、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、国際ロータリーに対して、さらに2億5,500万ドルを寄付。国際ロータリーではこれを受けて、2012年までにさらに1億ドル、2007年11月にスタートしたものと合わせて2億ドルの資金を集めることを表明しました。全世界のロータリアン（ロータリークラブ会員）は、「ロータリー2億ドルのチャレンジ」と称し、ポリオ撲滅のための資金集めをしています。

現地でワクチン投与活動

さて、1979年、ロータリーが初めてポリオの撲滅に乗り出して以来、ロータリアンたちは、もちろんお金を集めていただけではありません。多くのロータリアンが道路もないようなへき地に分け入り、紛争地帯に赴き、実際にポリオワクチンを子どもたちに届けるための活動もしています。紛争地帯では、双方の代表者を説得してポリオワクチン投与のために一時休戦にしたり、宗教上などの理由からポリオワクチンの投与を拒む人々を説得したり、さまざまな活動をしてきました。

世界中のさまざまな地域にロータリークラブがあり、ロータリアンたちが活動をしています。それぞれの地域で、ロータリアンたちがさまざまな形で、すべての子どもたちにポリオワクチンの投与をするために努力を続けています。





甲武信ヶ岳 : 標高 2475m

百名山 41/100

甲武信ヶ岳（こぶしがたけ）は、山梨県・埼玉県・長野県の3県の境にある標高2,475mの山で、奥秩父山塊の主脈の中央に位置する。甲武信岳（こぶしだけ）とも呼ぶ。

甲州（山梨県）、武州（埼玉県）、信州（長野県）の境にあるのでこの名になっているとされる説が有名だが、山容が拳のように見えるからという説もある。千曲川（新潟県に入ると信濃川）、荒川、笛吹川（釜無川と合流し富士川となる）の水源の地。頂上に三角点はない。また、すぐ隣の三宝山のほうが標高が僅かに高い。日本百名山の一つ。



金峰山 : 標高 2599m

百名山 42/100

金峰山（きんぷさん、きんぼうさん）は山梨県甲府市と長野県南佐久郡川上村の境界にある標高2,599mの山。奥秩父の主脈に位置し、秩父多摩甲斐国立公園に指定されている。日本百名山のひとつ。山梨県側では「きんぷさん」、長野県側では「きんぼうさん」と呼ぶ。北側から日本海側河川の千曲川の支流、南側から太平洋側河川の釜無川の源流（支流）を発する中央分水嶺である。古くから信仰の対象となり、蔵王権現を祀る。古くは金峯山と表記した。金峰山周辺は良晶に恵まれ、



山梨県側中巨摩郡には明治初頭まで水晶鉾山が存在した。現在でも水晶を採取することができる。（但し、国立公園内の特別保護地区であることに注意が必要である）山頂部は開けていて360度の展望があり、五丈岩という大きな岩が印象的。西側山麓の金山平（かなやまだいら）に、奥秩父を歩き本に著わした田部重治と木暮理太郎のレリーフがある。登山ルートは長野県川上村の金峰山荘（廻り目平キャンプ場）経由が古くから親しまれている。金峰山荘付近には、平安時代の修験者の宿坊跡もある。瑞牆山方面からの景観は必見。ピークのみならば県境の大弛峠から登るのもよい。





瑞牆山 : 標高 2230m

百名山 43/100

瑞牆山（みずがきやま）は山梨県北杜市（旧北巨摩郡須玉町）にある標高2,230mの山で、奥秩父の山域の主脈の一つ。旧須玉町域の最北部にあたる。「瑞牆」とは神社の周囲の垣根のこと。日本百名山のひとつ。



山名の由来は、山稜を三分割する「みつなぎ」の転訛説や、崖を意味する「がき」に由来する、また、『甲斐国志』では、玉壘と呼ばれる金峰山に対し、瑞壘を呼び習わしたとする説が紹介されている。古くからの信仰の山で、

洞窟には修験者の修行跡や刻字が残り、山頂の西峰には弘法岩があり、空海開山伝説も伝わる。全山が黒雲母花崗岩で形成される。南西部は風化や浸食の影響を受け、独特の岩峰が聳える景観を作っており、地元ではコブ岩と呼ばれる。

深田久弥は、この山を「針葉樹の大森林からまるでニョキニョキと岩が生えているような」と表現した。鋸岩、大ヤスリ岩など、岩々に名前が付けられている。

近くに黒森鉱泉（含炭酸食塩泉）、増富温泉（信玄の隠し湯、増富ラジウム温泉郷）がある。



大菩薩嶺 : 標高 2057m

百名山 44/100

大菩薩嶺（だいぼさつれい）は、山梨県甲州市（旧塩山市）と北都留郡丹波山村に跨る標高2,057mの山である。



奥秩父山塊に位置し、大菩薩連嶺の主脈を構成している。日本百名山のひとつに選ばれている。

深田久弥や木暮理太郎などは、その著書に大菩薩岳（だいぼさつだけ）と表記している。名称の由来は、源義光（新羅三郎義光）が後三年合戦の際に軍神の加護を願い「八幡大菩薩」と唱えたこと、また、観音菩薩が祀られていること、などのいわれがある。

大菩薩嶺山頂は樹林帯のため眺望はない。そのため、大菩薩嶺のみを目指して登ろうという者は少なく、多くの登山者は大菩薩峠とセットで登っているようである。

